

血糖値スパイク検診を受けてみませんか？

～糖尿病の早期発見と 重症化予防のために～

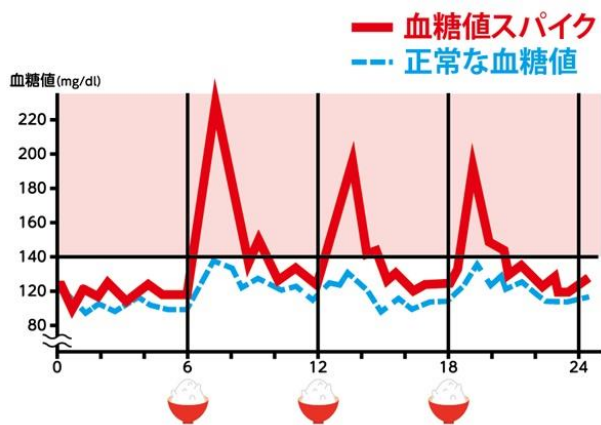
<グルコースモニタリング>



採血の痛みなしで、最大14日間の血糖データを記録し1日の血糖変動パターンを知ることにより、血糖値スパイクの有無を調べることが出来ます。またご自身の日常生活を見直す良い機会になります。

血糖値スパイクとは？

- 空腹時血糖は正常でも、食後1～2時間に急激に上がる（140mg/dl以上）病態の事をいいます。
- 血糖値スパイクを長期間放置すると、血管を傷つけ心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こすことがあります。
- 血糖値スパイクは、早期発見し小さくすることが重要です。



《方法》

- ① コイン大のセンサーを上腕の後ろ側に装着します。
- ② 測定期間内（最大14日間）は、食事内容や運動などの日常記録をしていただきます。
- ③ 測定期間終了日にセンサーを外し、健診センターにてコンピュータにデータを取り込み、レポートを作成します。
- ④ 解析データをもとに 医師が結果説明をします。



センサーは付けてるのを忘れるくらい
装着感がありません

《注意点》

- ⚠ 検査中はセンサーが外れないようにお気を付けてください。
 - ・ 耐水性で入浴、シャワー、水泳など可能ですが、水深1mより深いところにセンサーを入れたり、30分以上水に浸したりしないでください。
 - ・ ドア、家具、衣服（着脱時など）、その他にセンサーを引っ掛けないように注意してください。
 - ・ 腕周りがピッタリした服は避けてください。
 - ・ 体が接触するスポーツや、激しい運動は避けてください。
- ⚠ センサーは10℃以下、45℃以上（例 サウナ）になると測定できなくなります。
- ⚠ MRI 検査が必要な場合は、必ずセンサーを取り外してください。
- ⚠ X線、CT等の検査が必要になった場合は、各施設の指示に従ってください。

＜次のような場合は健診センターにご連絡ください＞

- 万が一センサーが外れた場合（捨てずに保管してください。）
- センサー装着部刺激感や不快感がある場合
- センサーについてご質問がある場合

血糖値スパイク検診に関するご質問、ご連絡は



石川県生会金沢病院 健診センター

TEL 076-266-2932

（月～金 13：30～17：00）

祝祭日を除く